

津山信用金庫を見る

津山中学校
4年班

会社について

1 津山信用金庫

昭和2年5月25日に創業されました。本店は岡山県津山市山下301-15にあり、常勤役員156人、店舗数は14店舗です。

2 津山信用金庫の紹介



津山信用金庫の沿線は持続可能な作州地域の実現を目指しています。

ミッションは作州地域の活性化のため、地域や地元企業・地元住民に対する課題解決・提案型企業を実践し、津山信用金庫の「経営理念」を実践しています。

経営理念は1.お客様の満足。
2.地域社会への奉仕。3.社会的責任の自覚。4.職員の幸福。5.環境変化への対応です。

3 津山信用金庫

が行なっている
取り組みの
代表的なもの
① つしん景況レポート
② 広報紙
③ 預金業務
④ 融資業務
⑤ 為替業務
⑥ 各種サービス
⑦ 金庫機関に関する商品
なども代表的に作成してあります。

式 仕事の原動力について

(仕事の原動力)

総務人事部の方々、お客様や金庫職員のサポートを重視することが原動力になっているそうです。

審査管理部：スケジュールを立てお仕事を進めるところで達成感を感じることが原動力になります。また、仕事をする中でお客様に恩返しをしたいという気持ちが原動力になってしまいそうです。

参 地域への貢献



1 地域への貢献

津山信用金庫は会社を立ち上げた人の創業塾で、地域に貢献してきました。また津山信用金庫には、地域の福祉を目的とした各種商品があり、地域に建物を建てたり、地域の木棧を使ったりして、地域を助けています。

2 持続可能な地域社会

津山信用金庫はペーパーに取引していくことで、紙をより使いながら、電子機器を

取り入れてきました。

肆 中学生への課題について

環境問題があるため、自分には何ができるかを考えることが大切です。そこで、津山信用金庫では、チラシや広告を紙ではなく、タブレットにしています。また、自分が住んでいる地域を知ることも大切です。なぜなら、自分が住んでいる地域で何か起きているかわかり、もし、お客様に聞かれたとき答えることができ、会話ができるからです。中学生が大学生や大人と車座になつて、働き方や生き方などをテーマに対等な関係で話し合うプログラムをする、「中学生たっぷり」という活動をすることで、社会への興味関心を高めることも大切です。

伍 それぞれの部署の仕事①

総務人事部

総務人事部は社員が仕事をしやすくするための部署です。人事課は社員のために、経理はお金を扱う決済の仕事をしています。他に総務課と資金運用室あります。人事課では環境変化に対応できるように考慮をします。そして、社員が働きやすい環境を作るためのサポートや社員の結婚葬祭のサポートなども行っています。

営業推進部

営業推進部は営業に関する仕事を管理しています。預金業務、融資業務預かり資産保険、投資信託などの企画・管理サポートをしています。例えば商品としてはカードローンや車のローン、各種保険などです。そして、チラシなどのデザインを考え、自金庫で準備できることは積極的に行っています。



伍 それぞれの部署の仕事②

審査管理部
金融機関でのお客様にお金を貸しても良いか判断し事業のアドバイスをしています。

地域創生部

お客様のしたいことにお金を生かして手伝っている部署です。稼働だけでなくお金のサポートをしています。直接お金を貸すくなくとも、もういらないと考えています。そして、広報誌の発刊もして、わざわざやる簡単な景況レポートでは実況し、ポートを天気で表すこと、わかりやすく表されておりとてもわかりやすく作られておりともあります。その他にも、お客様に対する補助金給付金に関する説明に申請する書類なども作っています。

経営管理部

経営方針、事業計画、事業報告書・系統機関への届出依頼書、年次報告書(経営の内容を明らかにまとめた冊子)やページの更新、リスク管理などをしています。

収編集後記



津山信用金庫は自分たちが思ってこなかったより地域に貢献していました。自分自身で貢献の仕方では驚きましたが、自分たちに新しい貢献の仕方を教えてもらいました。それまでの仕事の内容をインダビューやすることで地域のことを見直しました。それその人が地域で働くことの原動力がどう生まれていたのか、地域のことを見直す意図張りたいと思います。

津山信用金庫は地域のため貢献もあり研究会にも対応していく、無くてはならない存在でした。
私は津山信用金庫でインターネットやお話を聞かせて頂いて、このように仕事をあるとを知ることができました。また、地域のことで考えさせられることが多く貴重な経験になりました。これからは地域の一面としてまだ気づいていない仕事を知り、視野を広げていきたいと思います。

